

## 第 5 期 活動実績 (平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

### 《 会員/職員の状況 》

- ◆ 正会員 12 名
- ◆ 職員 31 名・非常勤職員 3 名・アルバイト 2 名

### 《 会議開催の状況 》

#### 【理事会】

- ◆ 第15回理事会 平成21年11月10日
- ◆ 第16回理事会 平成22年 3 月 24 日
- ◆ 第17回理事会 平成22年 5 月 26 日
- ◆ 第18回理事会 平成22年 9 月 8 日

#### 【総会】

- ◆ 第 5 回通常総会 平成21年11月24日

### 《 事業報告 》

#### 【がん研究者主導臨床研究事業】

- ◆ がん集学的治療多施設共同臨床試験支援業務 (国立がん研究センター事業)
- ◆ データマネジメント業務 (受託実績一覧参照)
- ◆ 医師主導治験データマネジメント・研究支援業務、治験調整委員会事務局業務
- ◆ 匿名化番号管理業務
- ◆ 安全性情報を提供する業務

#### 【がん臨床研究に関する情報収集並びに情報提供事業】

- ◆ ホームページ等を介し情報提供

#### 【がん臨床研究に関する教育事業】

- ◆ 臨床研究専門職(CRP)セミナー (平成 22 年 3 月 20 日)
  - ・SoCRA (The Society of Clinical Research Associates, Inc.)日本支部との共催
- ◆ JCOG 臨床試験セミナー (平成 22 年 9 月 25 日)
  - ・国立がん研究センターがん研究開発費指定研究 20 指-6「多施設共同研究の質の向上のための研究体制確立に関する研究」班および厚生労働科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業「臨床研究ポータルサイトICRwebを用いた研究者、倫理調査委員、臨床研究専門職、市民の教育と啓発」班との共催

## 《 受託実績一覧 》

●平成 21 年度 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業 研究課題 23 件

研究者代表者	研究課題名
田村友秀	限局型小細胞肺がんに対する新たな標準的治療の確立に関する研究
笹子三津留	進行胃がんの生存率を向上させる標準的治療法の開発に関する研究
森谷宜皓	再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法の確立に関する研究
吉川裕之	進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究
佐野 武	胃上部癌手術における脾合併切除の意義に関する研究
内藤誠二	早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究
白尾国昭	がんの腹膜播種に対する標準的治療の確立に関する研究
嘉山孝正	放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究
北野正剛	進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法確立に関する研究
加賀美芳和	放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究
飯田真介	再発・難治性骨髄腫に対する至適分子標的療法の確立と生物学的治療予測因子の探索
加藤知行	大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究
藤田 伸	臨床病期Ⅱ・Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化比較試験
武藤 学	早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究－粘膜下層浸潤臨床病期Ⅰ(T1NOMO)食道がんに対するEMR/化学放射線療法併用療法の有効性に関する第Ⅱ相試験:JCOG0508
後藤功一	再発小細胞肺がんに対する標準的治療法の確立に関する研究
堀田知光	悪性リンパ腫に対する免疫化学療法の最適化による新たな標準的治療の確立
森島泰雄	進行期難治性B細胞リンパ腫に対する大量化学療法を併用した効果的治療に関する臨床研究
奥坂拓志	切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
辻仲利政	治癒切除不能進行胃癌に対する減量手術の意義に関する研究
白土博樹	高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究
岩本幸英	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究
澁井壯一郎	悪性神経膠腫に対するTemozolomide の治療効果を増強した標準治療確立に関する研究
片井 均	胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下切除と開腹手術との比較に関する多施設共同ランダム化比較試験

●平成 21 年度厚生労働省がん研究助成金 研究課題 9 件

主任研究者	研究課題名
飛内賢正	20 指-1 高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
田村友秀	20 指-2 呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
島田安博	20 指-3 消化器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
澁井壯一郎	20 指-4 希少悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
平岡真寛	20 指-5 放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究
井垣弘康	18- 1 StageⅠ食道がんに対する放射線・抗がん剤併用と手術単独療法の有効性の比較
小西郁生	18- 6 婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療法に関する研究
藤井正人	18- 9 根治切除不能な頭頸部がんに対するS-1+CDDPを同時併用する化学放射線療法の第Ⅱ相試験
木下貴之	20-16 標準的乳がんセンチネルリンパ節生検法の確立のための多施設共同研究

●平成 21 年度 厚生労働科学研究費補助金治験推進研究事業 研究課題 1 件

主任研究者	研究課題名
大津 敦	臨床病期Ⅱ/Ⅲ(T4を除く)食道がんに対するS-1+CDDPを同時併用する化学放射線療法の第Ⅰ/Ⅱ相試験

●平成 22 年度 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業 研究課題 28 件

研究代表者	研究課題名
田村友秀	限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究
笹子三津留	治癒切除後の再発リスクが高い進行胃癌(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究
森谷亘皓	国内外科手術成績を基礎とした経口抗がん剤による治癒切除大腸癌術後補助療法の確立
吉川裕之	化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究
佐野 武	高度リンパ節転移を伴う進行胃癌の根治を目指した術前化学療法 + 拡大手術法の確立
内藤誠二	早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究
白尾国昭	がんの腹膜播種に対する標準的治療の確立に関する研究
嘉山孝正	放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究
北野正剛	進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法確立に関する研究
加賀美芳和	放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究
飯田真介	再発・難治性骨髄腫に対する至適分子標的療法の確立と生物学的治療予測因子の探索
片井 均	胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下切除と開腹手術との比較に関する多施設共同ランダム化比較試験
藤田 伸	臨床病期Ⅱ・Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化比較試験
武藤 学	早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究－粘膜下層浸潤臨床病期Ⅰ(T1NOMO)食道がんに対するEMR/化学放射線療法併用療法の有効性に関する第Ⅱ相試験:JCOG0508
後藤功一	再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究
木下朝博	悪性リンパ腫に対する最適化されたモノクローナル抗体併用療法の開発による標準的治療法の確立
森島泰雄	進行期難治性B細胞リンパ腫に対する治癒を目指した自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法の確立に関する研究
奥坂拓志	切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
辻仲利政	治癒切除不能進行胃癌に対する減量手術の意義に関する研究
白土博樹	高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究
岩本幸英	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究
澁井壯一郎	悪性神経膠腫に対するTemozolomide の治療効果を増強した標準治療確立に関する研究
藤井正人	進行頭頸部がんに対する化学放射線療法を中心とした集学的治療の開発に関する研究
鈴木健司	末梢小型非小細胞肺癌に対する縮小手術の有用性を検証する研究
山田康秀	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療に関する研究
小野裕之	未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性及び安全性に関する多施設共同研究
塚崎邦弘	成人T細胞白血病リンパ腫に対するインターフェロン $\alpha$ とジドブジン併用療法の有用性の検証
塚本泰司	高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術後の治療方針の確立に関する研究

●平成 22 年度 国立がん研究センターがん研究開発費 研究課題 6 件

班研究代表者	研究課題名
飛内賢正	20 指-1 高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
田村友秀	20 指-2 呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
島田安博	20 指-3 消化器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
澁井壯一郎	20 指-4 希少悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
平岡真寛	20 指-5 放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究
田原 信	頭頸部がんに対する放射線化学療法の適応と有効性の評価に関する研究

●平成 22 年度 厚生労働科学研究費補助金第 3 次対がん総合戦略研究事業 研究課題 1 件

研究代表者	研究課題名
大津 敦	StageⅡ/Ⅲ食道がんに対する新しい化学放射線療法の開発に関する研究